

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立千坂小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920 - 0002
石川県金沢市千木一丁目125

E-mail chisaka-e@kanazawa-city.ed.jp
Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/chisaka-e/

幼児児童生徒数 男子 306名 女子 314名 合計 620名
幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

(1) 活動の概要

1. 1年生の取り組み「しぜんとなかよし」

本学年は生活科を主としながら、地域の自然や地域の人とかかわることを通して、それらに関心を深めるとともに校区に対する親しみがもてるようになることをねらいとしている。

「きせつとあそぼう はるがいっぱい」の単元では、地域の公園へ行き、春見つけをした。春の草花や生き物と触れあい、季節を感じる事が出来た。「なつだいすき」の単元では、春との違い見つけを行い、季節の変化と自然の変化に気付いた。「あきといっしょ」では公園で秋見つけをした後、秋の自然物を利用して、おもちゃ作りを楽しんだ。学年全体で交流して楽しむために、各クラスでおもちゃを使ったゲーム作りや体験コーナー作りを工夫し、改良を重ねて「秋のフェスティバル」を行った。また、授業参観日に実施したので、保護者にも客として参加してもらうことができた。児童は、来てくれた人と積極的にコミュニケーションをとり、意欲的に活動していた。本単元を通して、児童が地域の自然や人に関心を深め、それらに親しみがもてるようになっていっていると思われた。

2. 2年生の取り組み「まちたんけん ～千坂のすてきをみつけよう～」

生活科で春「どきどき わくわく まちたんけん」と秋「もつとなかよし まちたんけん」の2回、町探検を行った。1回目の町探検では、3つのコースに分かれて交番や介護施設、自動車学校、公民館などに出かけ、施設にどんな物があるのかどんな所なのか、場所に親し

みを持つことをねらいとして春と同じ場所に出かけ、一緒に活動させてもらった。地域の人や、地域の施設で過ごす人とクイズやゲームなどを通して関わることで、更に地域を身近に感じることができた。

その後、2回の探検を通して見つけた地域の魅力を「干坂のすてきを見つけたよ発表会」でほかのコースの人たちに伝えた。発表会ではその魅力をどんな方法で伝えたいのかグループごとに思考し、クイズやペープサート、ニュース、新聞、紙芝居など様々な方法で表現することができた。この学習を通して、地域の方と進んで関わろうとする姿が見られ、「大人になっても干坂の町に住みたいよ」と地域に愛着を持つことができた。

3. 3年生の取り組み 「金沢の和菓子・茶道文化を学ぶ」

3年生では、金沢の和菓子・茶道文化について栄えた理由について調べたり、体験したりする学習に取り組んだ。調べた。2学期にはものづくりマイスターをゲストティーチャーとして招き、和菓子作りを体験した。児童は、職人の技の巧みさや日頃から努力をしていることに気づくことができた。学習を新聞にまとめると、「今まで何も考えずに和菓子を食べていたけど、これからは丁寧に食べたいと思います」、「職人さんの技をもっと知りたいと思いました」など、金沢の和菓子に対する見方が変わった児童が多かった。

この学習を通して、職人や地域の方の和菓子に対する思いを知り、金沢の和菓子への興味関心が高まった。氷室饅頭など、金沢で築かれてきた和菓子・茶道文化を大切にしようとする意識をもつことができた。

4. 4年生の取り組み 「ぼくたち地球防衛隊」

ごみ処理とその再利用の課題、水の浄化作用等の社会科学習と関連させて、総合的な学習の時間には、自分たちが環境保全のためにできることを考え、実践することに取り組んだ。また、海外で難民の人たちが困っていることを知り、その人たちのために自分たちができることはないかを考えた。そして、「難民の子ども達を笑顔にするために不要になった子ども服を集めよう」というめあてを立て、着られなくなった子供服を集める取り組みを行った。全校児童に向けて、集会で呼びかけたり、校内にポスターを貼ったり回収箱を設置したりした。段ボール箱 6 箱分の集まった子供服は、企業を通じて、難民の人たちに送ることができた。

「ぼくたち地球防衛隊」の学習を通して、現在学校で取り組んでいる自分たちの取り組みがエコ活動や誰かを助けることにつながっていくことを実感し、地球環境を守っていくのだという意識を育てることができた。

5. 5年生の取り組み 「干坂の宝！加賀レンコン」

干坂の特産物である加賀レンコンの秘密を探るため、地域のレンコン農家の方の指導のもと、レンコンを栽培した。10月にはレンコン掘りをして収穫の大変さと喜びを体験し、試食をしてみたらさらに加賀レンコンの魅力を知った。ところが、この加賀レンコンを栽培する農家の数が減っていることやあまり知られていないという問題点を知り、12月に「みんながスマイル！もちネバッ レンコンパーティー」というイベントを開く計画を立てた。ちらしを配ったりポスターをはったりして地域のお客さんを集める集客隊。加賀レンコンの様々な魅力を地域の方に向けて発表する発信隊。どのように調理するとおいしいか考えてレシピを配りながらレンコンを販売する販売隊。3つの隊に分かれて準備と活動をした。当日は、たくさんの地域の方が来校され、子どもたちは加賀レンコンを守ることができたと感じることができた。

6. 6年生の取り組み 「いいね金沢 魅力発信！！」

自分達の住む金沢についてより詳しく知るために、1学期には「金沢百万石まつり」の由来や歴史・金沢の名所について、調べ学習を進めた。2学期には、金沢が「歴史都市」「ユネスコ・クラフト創造都市」に認定された意味を考え、「金沢のすばらしさを他の県の人に伝えよう」というテーマで調べてきた。「金沢の名所」や「伝統工芸品」について、パンフレットにまとめた。これまでも名所や伝統工芸について学習したことはあったが、今回さらに詳しく調べ、調べたことを伝え合うことによって、文化を継承している人の努力や金沢の魅力をさらに知ることができた。その後、これからの金沢をどんな町にしていきたいかについて話し合った。全国的にも注目されている金沢だが、「金沢がますます好きになった」「他の県の人にもっときてほしい」「伝統を守りながらさらに発展して欲しい」という思いをもつことができた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ユニクロエコプロジェクト (4年生)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

低学年（1・2年生）では生活科において、3～6年生では総合的学習の時間のカリキュラムに位置づけている。1年生では地域の園児と関わる「しぜんとなかよし」、2年生では学校の校区内を探検して自分たちの町に興味や誇りを持つ「まちたんけん ～千坂のすてきをみつけよう～」を学習する。3年生では、「金沢の和菓子・茶道文化を学ぶ」で金沢の伝統的な和菓子、4年生では地球の環境を守るために古着を集める「ぼくたち地球防衛隊」、5年生では地域の農家の方と連携して地域の伝統的食材を守り広める「千坂の宝！加賀レンコン」、6年生ではそれまでの学習を生かして金沢の魅力伝える「いいね金沢 魅力発信！！」を学習できるよう位置づけている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学年ごとに、総合の掲示板を設置している。年間を通した生活科・総合的な学習の時間の学習履歴を掲示していき、児童が学習の見通しを持ち、自分達の学びの積み重ねが分かるようにしている。また、地域の方やユニクロとの連携、他教科との関連をカリキュラムに位置づけ、総合的な学習の時間のカリキュラムの充実を図っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクール加盟7年目であり、総合的な学習の時間がどの学年でも充実してきた。今年度は、地域との関わりや発信に加え、校内への発信も昨年度に比べてできてきた。他の学年が一体どんな活動を行っているのか、次の学年での総合的な学習の取り組みの見通しが持てるように掲示板に学習したことを表したり、他学年を発信の場へ招待したりすることもできた。来年度は、さらなる総合的な学習の充実を図るための教職員への研修や学びの積み重ねが分かるような掲示板の工夫を検討していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

5年生の「千坂の宝！加賀レンコン」では、加賀レンコンを植えるところから収穫、そして自分たちで掘ったレンコンを自分たちで調理しておいしさを感じた。育てている間の苦労や加賀レンコンのおいしさを伝えるために、レンコンパーティーを地域の方に開いて活動成果を発信することができた。また、千坂小学校のホームページに、「ユネスコスクール」のページとして5年生の活動を随時発信した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

4年生の「ぼくたち地球防衛隊」では、ユニクロの「とどけよう服のちからプロジェクト」を活用した。学校側の、無駄をなくして地球を守りたいという目的を達成するために、ユニクロの活動は大変効果的であった。ユニクロの方による説明や梱包や搬送なども行ってもらえるため、スムーズに活動できた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

5年生が、レンコンパーティーを地域の方に開いて活動成果を発信した。地域の方に伝統的食材の加賀レンコンのよさについて知ってもらおうという目的を達成しながら、地域の方にとっては児童が学んでいる姿に成長を感じてもらえる場となり、児童たちにとっては、地域の方と話したり受け答えをしたりと交流する力がつく場となった。一つ下の4年生も活動の様子を参観し、来年度の学習の見通しを持つことができた。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

ユネスコスクール加盟7年目であり、総合的な学習の時間がどの学年でも充実してきた。今年度は、地域との関わりや発信に加え、校内への発信も昨年度に比べてできてきた。他の学年が一体どんな活動を行っているのか、次の学年での総合的な学習の取り組みの見通しが持てるように掲示板に学習したことを表したり、他学年を発信の場へ招待したりすることもできた。来年度は、さらなる総合的な学習の充実を図るための教職員への研修や学びの積み重ねが分かるような掲示板の工夫を検討していきたい。